

平成（22）年度 （豊郷南）小学校 学校評価書

※ 網掛けのない部分が計画、網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標（目指す児童生徒像含む）

豊かな心と健やかな体を持ち、創造的に考え、自らの向上とよりよい社会の発展を目指し、たくましく生きる児童を育成する。

- ・健康でがんばる子・・・元気いっぱい<体>
- ・礼儀正しく思いやりのある子・・・やさしく <徳>
- ・きまりを守り責任を果たす子・・・正しく <徳>
- ・進んで勉強し工夫する子・・・かしこく <知>

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

創立115年の本校の伝統と校風を引き継ぎつつ、すべての教職員の力を結集し、これからの新しい時代を生きる豊郷南小の児童一人一人の確かな成長を保証するとともに、保護者・地域社会から理解と信頼を得られる学校経営を目指す。

～どの子ども「伸びる」、その子たちを確実に「伸ばす」学校～

3 学校経営の方針（中期的視点）

(1) 『明るく気力ある学校』を目指して

- ①あいさつと笑顔があふれる学校
- ②ワクワクしながら登校し、満足して下校できる学校
- ③やさしく、厳しい教育をする学校

(2) 『教育愛に満ち、活力ある組織』を目指して

- ①児童を常に中心に据え、不断の努力をする組織
- ②職場の輪を大切にし、力を出し合う組織
- ③サービスの厳正に努める組織

(3) 『社会に開かれた学校』を目指して

- ①潤いのある教育環境が整っている学校
- ②保護者・地域の人々と共有できる学校

4 今年度の重点目標（短期的視点）

(学校運営)・・・学校経営の重点を『“元気いっぱい やさしく 正しく かしこく”伸びる豊南小の子』とし、児童一人一人が持つ「伸びる力」を確実に引き出し、生きる力を培うことで、自分の未来に夢と自信を持って進むことができる子どもを育成する。

(児童生徒指導)・・・基本的な生活習慣を身に付け、規則を守り、楽しく意欲的に行動できる実践力を育成する。

(健康・体力)・・・自己の体力や健康を的確に把握し、適切に自己の健康・安全管理ができ、たくましく生きる子どもを育成する。

(学習指導)・・・自分の思いや考えを伝え合う学習活動を通して、生き生きと学習に取り組む子どもを育成する。

5 自己評価 (A は共通評価指標, B は学校独自評価指標)

(評価指標の〔全〕は, 全体アンケート実施)

(「主な具体的な取組の方向性」には, A 拡充 B 継続 C 縮小・廃止, を自己評価時に記入)

項目	評価指標	主な具体的な取組	方向性	評価
教育全体の状況	<p>A1 学校は, 活気があり, 明るくいきいきとした雰囲気である。〔全〕</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「自分は今の学校が好きである」 ⇒児童の肯定的回答 95%以上</p>	<p>①児童会によるあいさつ運動を継続的に実施していく。</p> <p>②「なかよしタイム」「清掃活動」の縦割り班活動により, 温かい交流を深める。</p> <p>③教師は児童の自尊感情を高める関わりを心がける。</p>		<p>【達成状況】</p> <p>A1⇒94.7% (−0.3ポイント)</p> <p>A2⇒97.7% (+2.7ポイント)</p> <p>A3⇒81.1% (−3.9ポイント)</p> <p>A4⇒96.0% (+1.0ポイント)</p> <p>A5⇒84.9% (−0.1ポイント)</p>
	<p>A2 教職員は, 組織の一員として誠実で熱心に教育に当たっている。〔全〕</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「先生方は, 児童のことを考え, 良いところは認めてくれたり, よく話を聞いてくれたりする」 ⇒児童の肯定的回答 95%以上</p>	<p>①児童を常に中心に据え, 不断の努力をする組織作りを行う。</p> <p>②職場の輪を大切に, 力を出し合う組織作りを行う。</p> <p>③サービスの厳正に努める組織作りを行う。</p>		<p>概ね良好な状況と考える。A1 及び A5 についてはマイナスポイントの結果となったが, これは数値目標が高いためであり, 状況としては良好である。A3については, 判断できないという回答が多かった。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>A1については, 学校経営の重点の一つである「やさしく」に係る取り組みであり, 次年度も引き続き 95%以上の肯定的回答を目指していきたい。</p>
	<p>A3 児童は, 授業と生活のきまりやマナーを守り, 秩序があり安全な学校生活をしている。〔全〕</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「児童は, 授業と生活のきまりやマナーを守って生活している」 ⇒保護者の肯定的回答 85%以上</p>	<p>①校内・外での基本的な生活について見直し, 「児童のきまり」を作成・活用する。</p> <p>②学校生活全般でルールとマナーを守る態度を育成する。</p>		
	<p>A4 分かる授業やきめ細かな指導で学力向上を図っている。〔全〕</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「先生方の授業は, 分かりやすく, 一人一人に丁寧に教えてくれる」 ⇒児童の肯定的回答 95%以上</p>	<p>①本時学習の「めあて」の提示を工夫し, 明確化を図る。</p> <p>②教材教具の効果的な活用を図る。</p> <p>③習熟度別学習を取り入れ, 個々の児童の学力に応じた指導を行う。</p>		
	<p>A5 日課, 授業, 学校行事など教育課程は, 適切に実施されている〔全〕</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「学校の日課, 授業, 行事などは, 適切に実施されている」 ⇒保護者の肯定的回答 85%以上</p>	<p>①学校行事後及び年度末にそれぞれの教育活動について自己評価を実施し次年度の教育課程に生かしていく。</p> <p>②自己評価の中で行事の精選や内容の更なる充実に努める。</p>		

学校運営の状況	<p>A6 学校の公開や情報の積極的な発信・提供が行われ、「地域の学校づくり」が進められている。〔全〕</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「学校は、学校便りや学校公開などで、積極的に情報を発信・提供している」⇒保護者の肯定的回答 90%以上</p>	<p>①年間を通して自由参観とし、保護者にいつでも参観できる環境を提供する。</p> <p>②各種「たより」やホームページにより、学校の方針や情報を発信する。</p> <p>③地域協議会の充実を図り、有効に活用する。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>A6⇒91.4% (+1.4ポイント) A7⇒84.3% (-0.7ポイント) A8⇒73.9% (-1.1ポイント) A9⇒69.7% (-0.3ポイント) B1⇒65.0% (-15.0ポイント)</p> <p>A7 (-0.7ポイント) は、肯定的回答の数値目標を昨年度より5ポイント高くした結果であり、実質的には、昨年度の結果を上回るよい結果となっている。</p> <p>B1 (-15.0ポイント) は、肯定的回答の数値目標が高かったこと、学校の取り組み状況を判断することが難しかったことなどの理由が考えられる。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>「教職員の指導力向上について」は、引き続き研修内容や方法等の工夫を行い、指導力の向上に努める。</p> <p>また、「学習にふさわしい校内環境整備について」は学校経営の「正しく」に視点をあて、児童・職員・保護者・学校支援ボランティアの方々との連携を図り、より一層の環境整備に努めていきたい。</p>
	<p>A7 学校と家庭・地域・企業等との連携・協力を図った取組が推進されている。〔全〕</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「学校は、家庭、地域、企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている」⇒保護者の肯定的回答 85%以上</p>	<p>①地域の方々の協力を得た授業(体験活動・学校行事など)を計画する。</p> <p>②PTAによる読み聞かせボランティアを活用する。</p> <p>③地域の伝統行事である盆踊り大会への連携を図る。</p> <p>④登下校の安全確保のために、地域「見守り隊」の協力を得る。</p>	
	<p>A8 校内は、学習にふさわしい環境となっている。〔全〕</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「学校は、清掃が行き届き、学習しやすく潤いのある環境である」⇒保護者の肯定的回答 75%以上</p>	<p>①児童が時間いっぱい意欲的に取り組む清掃活動を工夫する。</p> <p>②6年生が毎朝階段の掃き掃除や校庭のごみ拾いを実施し、他学年の児童を啓蒙する。</p> <p>③年間を通した石拾い、草むしり、落ち葉拾いなどを実践し、奉仕の心を育む。</p>	
	<p>A9 学校全体で、教職員一人一人の指導力向上に努めている〔全〕</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「学校は、教職員が互いに指導力向上に取組、指導の工夫・改善に努めている」⇒保護者の肯定的回答 70%以上</p>	<p>①自己の研修目標を設定実行し、必要に応じて研修の成果を、職員研修の場などで全職員に広める。</p> <p>②一人一授業を公開し、互いに見せ合い、授業研究会の実施によって教師力の向上に努める。</p>	
	<p>B1 「元気いっぱい やさしく 正しく かしく」を合言葉に、児童一人一人が持つ「伸びる力」を確実に引き出し、生きる力を培う。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「学校は、一人一人の児童を大切にした取り組みをしている」⇒保護者の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①各プロジェクトが機能し、PDCAサイクルで推進する。</p> <p>②「明るく気力ある学校」、「教育愛に満ち、活力ある組織」、「社会に開かれた学校」等を目指した学校の取り組みを保護者・地域にPRし、それぞれを巻き込んで展開する。</p>	

教育活動の状況	<p>A10 元気にあいさつし、気持ちの良い言葉づかいをしている。〔全〕</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「児童は、あいさつをしている」 ⇒保護者の肯定的回答 70%以上</p>	<p>① どうしたらあいさつが交わせるか、方法の工夫に努める。</p> <p>② 児童会により実施されているあいさつ運動を利用し全児童の意識を高める。</p> <p>③ 「たより」などを利用し保護者への呼びかけを行う。</p>	<p>A10⇒62.8% (-7.2ポイント) B2⇒71.6% (-8.4ポイント)</p> <p>A10 については、児童と大人の意識の差が大きい結果となった。あいさつの習慣化に努めたい。</p> <p>【次年度の方針】 評価結果が出た直後から、グリーティングタイムなどを設けて、あいさつ運動の充実を図り、徐々に効果が現れてきている。次年度も継続して学校・家庭・地域が連携して取り組んでいかなければならないと考える。</p>
	<p>B2 児童は、悩みや困ったことなどを相談したり、話を聴いてくれたりする相手をもっている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「児童は悩みを相談する相手をもっているか」 ⇒保護者の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 担任と児童一人一人が向き合う教育相談をゆとりをもって確実に実施することにより、児童が抱える様々な問題や願い・希望などを把握し、学校教育の充実に資する。</p>	
健康・体力	<p>A11 毎日朝ごはんを食べ、好き嫌いのない食事をしている。〔全〕</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「自分の子どもは、朝ごはんを食べ、好き嫌いなく食事をしている」 ⇒保護者の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 栄養士と担任教師との連携を図った授業を実施するなど、食育に関する教育の充実を図る。</p> <p>② 「食育だより」を定期的に発行し家庭にも協力を呼びかける。</p>	<p>【達成状況】 A11⇒81.2% (+1.2ポイント) B3⇒77.6% (+2.6ポイント)</p> <p>A11・B3 とも目標数値を上回り、概ね良好であるが、偏食については、多くの児童が自覚している状況が伺えた。</p>
	<p>B3 自己の健康について自ら学び進んで課題を追求する。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「児童は自己の体について理解し、健康に過ごせるよう、工夫・努力している」 ⇒保護者の肯定的回答 75%以上</p>	<p>① 養護教諭・栄養士と担任教師との連携を図った授業を実施するなど、保健・健康に関する授業の充実を図る。</p> <p>② 体育授業導入時の運動を工夫し、意欲的に体力の向上を図らせる</p>	<p>【次年度の方針】 食育については、食育だより、栄養士、養護教諭との連携により、徐々に改善されてきている。保護者とも協力し合い、学校・家庭の両面から支援していきたい。</p> <p>B3 については、体育の授業の中で工夫し、保健指導や体力向上を目指した取り組みを意図的に行っていく。</p>

	<p>A12 授業に熱心に取り組 み、基本的な学習態 度・技能が身に付いて いる。〔全〕</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「児童は、 進んで挙手し、大きな声で 発表するなど授業に対して 積極的に取り組んでいる」 ⇒教職員の肯定的回答 95% 以上</p> <p>B4 英語活動の研究を推進 し、児童が英語に親しめ るよう工夫する。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「自分は、 英語活動の時間が楽しい」 ⇒児童の肯定的回答 90%以 上</p>	<p>①朝のタイムを活用し、学習内容 「基礎基本」の定着の一助とす る。</p> <p>②個々の児童の学年や学力に応じ た課題の提示、学習方法の指導・ 定着に努める。</p> <p>③学習訓練の地道な指導を継続す る。</p> <p>①児童が英語を体験的に理解でき るよう ALT・ボランティアティーチャーな どの有効活用をはじめ授業内容 を工夫する。</p>	<p>【達成状況】 A12⇒96.6% (+1.6ポイント) B4⇒89.2% (-0.8ポイント)</p> <p>A12・B4ともに、高い肯定的数値目標を設 定したが、概ね良好である。</p> <p>【次年度の方針】 引き続き朝の学習タイムの活用を図り、基礎基 本の充実を目指す。 英語活動については ALT や英語ボランティアの 活用を充実させ、一層楽しい授業となるよう 計画していく。</p>
<p>本 校 の 特 色 ・ 課 題 等</p>	<p>B5 地域協議会やPTA、企業、 関係機関等との連携協力を図 り、地域の教育力を高めてい く。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「学校は、P T Aや地域等の方々と協力し、 地域全体の教育力が高まるよう 努力している」 ⇒保護者の肯定的回答 75%以上</p>	<p>① 地域協議会やPTA活動の中 に児童と保護者が一緒に参加 できる活動を組み込む。</p> <p>② 平成 21 年度発足した「見守り 隊」の組織・活動をさらに充 実・活性化させる。</p>	<p>【達成状況】 B5⇒77.6% (+2.6ポイント) 概ね良好と思われる。</p> <p>【次年度の方針】 丁寧な応接と誠実な対応、双方向のコミュニケー ションを大切にしたい取り組みを展開し、平成 23 年 度の「目指す学校像：社会に開かれた学校」 を推進していく。</p>

〔総合的な評価〕

(学校運営)

全体の89%の保護者からアンケート調査の回答をいただき、結果は、各項目とも、昨年度と比べ多少の数値の動きはあるものの、総じて肯定的な見方をさせていただいていることが分かった。何より子どもたちが喜んで登校し学習していることが分かり、喜ばしく思っている。

しかし、数値の低いところについて具体策を講じ、精一杯取り組んできたにもかかわらず、依然として、70パーセントに満たない低い評価項目があり大変残念に思う。今回の結果を真摯に受け止めて、学校経営の重点である「“元気いっぱい やさしく 正しく かしく “伸びる豊南小の子”(2年次)の具現化を図り、児童一人一人が持つ「伸びる力」を確実に引き出し、生きる力を培うことで、自分の未来に夢と自信を持って進むことができる子どもを育成したい。

(児童生徒指導)

全体アンケートにおいて「自分は学校のきまりやマナーを守って生活している」と回答している児童は83.0%で、昨年を若干上回る結果となった。あいさつについては、あいさつや言葉遣いについての全体アンケートにおいて、昨年同様、児童は「比較的あいさつをしっかりとしている」と感じている一方、保護者や教職員は「課題である」と感じ、子どもと大人の感じ方の差が大きい結果となった。次年度は、「明るく気力ある学校」を目指して、児童が主体的に実践できるよう家庭・地域とも連携を強化して継続的に指導していきたい。

(健康・体力)

「好き嫌いのない食事・・・」に関して、児童の肯定的回答は76.6%という結果であり、「偏食していること」、「偏食は健康によくないこと」を自覚していることが分かる。また、「健康に過ごすための工夫・努力」について、保護者は71.1%と低い結果となった。

次年度は、健康に関しては、「自分の健康は自分で守る」という意識をもって自分で健康チェックを行えるよう自己管理能力を育成すること、体力に関しては、本校の児童の劣っている部分について、様々な教育活動や体育の授業を通して、体力の向上を図っていくこと、食育については、食育だよりや栄養士・養護教諭との連携を図った授業、学校・家庭が連携した両面からの支援などにより改善を図ることなどを目標として努力していきたい。

(学習指導)

「授業が分かりやすく、一人一人に丁寧に教えてくれる」の問いに、肯定的回答をしている児童は、96%と高い数値結果となったが、保護者の方は、70%を下回る結果となり、児童と保護者の間に大きな開きがあることが分かった。この結果を慎重に受け止め、朝の学習の時間を確保したり、家庭学習を習慣化したり、提示課題を工夫したりするなどして基礎・基本の定着を図り、更に自己研修を積み重ねて「分かる授業」の展開を心がけることが肝要である。

## 6 学校関係者評価

- ・ 学校経営理念の中に、「子どもたち全員が夢や希望をもてる学校づくりに努める」とあるが、子どもたちがそのような希望をもち、生き生きと生活し、学校が楽しくなると学力向上にもつながる。教職員・家庭・地域との連携を更に強め、たくましく生きる心優しい児童を育成していただきたい。
- ・ 先生や保護者の指導に対する感謝の気持ちがないように思う。親学の必要性を感じる。また、あいさつのできない子どもが多く、あいさつや言葉遣いの改善に取り組んでいただきたい。
- ・ アンケートの内容には、判断が難しく答えられないものがある。子どものいない家庭、学校の様子をあまり知らない者もいるということを考慮していただきたい。

## 7 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

- ・ 全体アンケートにおける保護者の肯定的回答が70%を下回ったものが6項目あった。「分かりやすい授業・きめ細かい指導」、「指導の工夫・改善」、「児童のあいさつや言葉遣い」、「英語活動」、「児童を大切にした取り組み」などについてであった。いずれも改善に向け努力しているが、特に、「児童のあいさつや言葉遣い」については、昨年度からの課題であり、今年度・次年度の重点指導項目である。すでにグリーティングタイムを設けるなど具体的な対策を立て、各学年で取り組んでおり、少しずつ成果が上がってきている。
- ・ 学校経営の重点である「“元気いっぱい やさしく 正しく かしこく” 伸びる豊南小の子」の第2年次として、それぞれに具体策（あいさつ運動・縦割り班活動・清掃活動・奉仕活動・朝の学習の充実・校内研修の充実・見守り隊の拡充など）を設け、改善に取り組んでいきたい。
- ・ 学校だよりや学年・学級だより、地域協議会だより、学校開放日等を効果的に利用するなど、学校の教育活動状況を知っていただく方法を工夫し、アンケートの内容について、少しでも判断できるよう配慮していきたい。